

《無断転載を禁ずる》

2020年度 群馬県立女子大学文学部国文学科
一般選抜試験（前期）

「国語」

・出題意図

問題一

（一）は現代文の文学的内容をもつ文章についての問題です。最果タヒ「わたし捨て山」を題材としています。詩人である筆者が、自作の朗読を聞いた経験から自分が詩を作る時の心情を導き出していく過程を正確に捉えているかどうか、またそれを簡潔に記述できるかどうかを問うものです。

（二）は現代文の論理的文章についての問題です。谷口康浩「縄文らしさ」を題材としています。筆者が具体的な例を挙げながら述べている「縄文らしさ」について、正確に理解しているかどうか、またそれを簡潔に記述できるかどうかを問うものです。

問題二

鎌倉時代の説話集、『十訓抄』から、手紙の書き方に関する話題を扱った一段を選び、題材としました。古文の基礎的な文法や語彙の知識が身についているかどうか、また、そうした基礎的な知識を運用して、花園内大臣家の督殿の失敗をめぐる話の要点が理解できたかどうか、手紙の書き方一般についての筆者の訓戒が理解できたかどうかを問いました。